



あなたのまちのコミュニティ活動情報誌

コミュニティ しずおか

2025
10月
No.180



しろした 城下町内会、森ほたるで町民交流

城下森ほたるの会、城下町内会社会教育学級（森町）

▶去る8/9～16日、古い町並みが残る城下町内（215世帯）を通る街道に行燈が置かれ、情緒あふれる風景が浮かび上がった。以前は森地区で「森ほたる」と称しイベントが開催されていたが4年前に中止。元々地域活動が活発だった城下町内会で「森ほたるを開催し交流を復活させたい」との声が上がり、有志を中心に町内会に声をかけ昨年イベントが復活した。

▶50軒以上の住民が行燈の設置に協力。一部は子ども会を通じて行燈に文字や絵を描いてもらい各家庭に設置した。最終日には納涼祭を開催し町民同士が楽しんでフィナーレを迎えた。

◇事務局長：増田多喜男さん（問合せ・090-7041-4078）

【情報提供・山田勝恵】

Topics トピックス

- 地域訪問記** P2～3
未来へ羽ばたけ!! 大人も子どもも糧になる、清水おやこ劇場（静岡市）
- クローズアップ** P6
シニアも楽しめる居場所づくりを兼ねたイベント（吉田町）



のりづき・りえ

コミック



左と右上：目の前で繰り広げられるパフォーマンスに大人も子どもも夢中 中下：ゼミ18の料理教室 右下：港っぽれを踊る子どもたち

未来へ羽ばたけ!!

大人も子どもも糧になる、清水おやこ劇場

静岡市
清水区

清水おやこ劇場

皆さん「おやこ劇場」ってご存知でしょうか？1964年、各家庭へテレビが普及し、子どもたちの外遊びが減っていく中、地域と家庭との繋がりが薄れていくことを社会課題と感じた福岡市のお母さんたちが始めた活動で、その後全国に広がります。1971年「子どもたちに夢と勇気とやさしい心」という願いを込めて「清水おやこ劇場」が発足。今年で55年を迎えます。運営委員の佐藤さん、榎引さん、田代さん、中野さんにお話を聞きました。

清水おやこ劇場って…どんな会？

年5本程度のプロによる生の舞台芸術を観賞する「例会」と仲間と様々な体験をする「自主活動」の2本の柱で活動しています。会員数は、66人。年中児から大人まで

幅広く、親子はもちろん、楽しかったからと社会人になって戻ってくる人、子どもは卒業したけど関わりたいと残る保護者、賛助会員で構成しています。活動費は会費の月額1300円で賄われますが、自主活動には別途参加費が必要です。子どもたちの感性を豊かにし、異なる年齢が関わり合うことで心の成長や社交性を育む場となっています。

例会の魅力

「普段選ばない分野の作品と出会え、クールな娘が落語の劇で床を叩いて笑う姿に驚きました」と佐藤さん。例会では、子どもの感性を豊かにするために、多様なジャンルの作品を用意。さらに、当番地区の大人と子どもが

裏方として活動し、飾りつけや館内アナウンス、もぎり、演者へのプレゼントなどを担当します。鑑賞するだけでなく演者と一緒に作品をつくり上げているところが魅力のひとつです。

自主活動の一例

「私の子どもは18歳まで在籍し、ここで育ててもらったようなものです」と田代さん。自主活動の一つ「ゼミ18」は、「18歳になって親元を離れても困らないように」をコンセプトにした料理教室。小学4年生から参加可能で、男の子の保護者に人気です。メニューはあるけど、レシピはなし。講師の指導はあるが、自分たちで考えつくる実験的なスタイルで、面白い形や味付けが足りなくても楽しんじゃう会とのこと。1年経つとそれなりに料理の腕も上達し、保護者からも好評です。

次世代への思いと課題

これまでママ友の口コミで会員を維持してきましたが、コロナが明けてから入会率の低下が顕著になってきたそうです。その背景には、コロナ禍によりママ友同士の交流が減り口コミも止まってしまったのが原因といえます。SNSの開設や冊子で情報発信するも、口コミには敵わないとのこと。

また、保護者を取り巻く環境が変化する中で、運営側の思いをどう次世代へ伝えていくのかも課題です。「人とつながりが希薄化しているからこそ会員同士の話し合いが必要だと感じています。若い保護者の意見を聞き、フォローしながら世代交代ができるようにしていきたい」と中野さんは語ります。



見るだけでなく
裏方の役割も
知ってもらう



一般の方が参加できるママ支援の講座「あっぷっぷ」

おやこ劇場が育む、親子の絆と子どもの成長

「イイね!」



「高校生の息子は例会を楽しみにしています。鑑賞後は会話が增えます」と櫛引さん。舞台を観た後、親子の間に自然と会話が生まれるのもおやこ劇場の良いところです。また、卒業を自分で

決められることから、ここでの経験がきっかけとなり演劇部へ進んだり、海外で照明係として活躍している子もいます。

思春期に家庭ではコミュニケーションが難しくなることもありますが、会に参加し積極性が芽生えたり、会話が広がるなど、少しずつ目に見える変化が現れてきます。親子の間ではうまくいかなかったことも、会の仲間との関わりを通じて、周囲から関心を持ってもらえるようになり、子どもが成長していける場所だと感じました。



左から田代さん、中野さん、佐藤さん、櫛引さん



おやこ劇場HP

◇代表:佐藤尚代さん(問合せ・054-353-0404)

【情報提供・佐々木光太郎】



レポート:鈴木千春 編集委員

南伊豆町

誰でもどうぞ♪な居場所です

南伊豆町
社会福祉協議会



季節の草花でリースづくり

▶毎週水曜日の午後になると、町が管理する「コミュニティスペースきよりや」から楽しい声が聞こえてくる。2019年、子育て世代のママたちの声を聴き、誰でもぶらっと立ち寄れる「居場所にじいろ」が開設された。

▶現在、精神保健福祉士の滝瀬さんと教員や相談員をしていた永山さんの2人がスタッフとして活躍。マシュマロを焼く七輪の日、季節の草花でつくるリースの日、ウクレレの日を設けてはいるが、何をして過ごすかは自由。「やりたい、やりたくないを尊重し、大人はもちろん子どもが自主的に立ち寄れる場にしたいです」と滝瀬さん。親子連れ、小学生、高齢者等毎回10人程の利用者があり、周辺市町から訪れる人もいます。

▶「にじいろ」を介して悩みを持つママ同士が顔を合わせる機会が増え、開設日以外でも会う約束が見られる等つながりが広がっている。今後は親子で学ぶ子どもの権利条約の勉強会を考えている。

※にじいろの一角では、不登校などの悩みの相談にも応じています。

◇南伊豆町社会福祉協議会(問合せ・0558-62-3156)

【情報提供・山根美果】

伊豆の国市

地域の伝統文化を未来へつなぐ思い

四日町シャギリ
保存会

▶今から50年程前、四日町地区にある八坂神社では、7月の例祭に青年団が中心となりシャギリを披露していたが、青年団の解散と共になくなってしまった。「このままでは地域の伝統文化が途絶えてしまう」と危機感を感じた青年団OBの呼びかけで1986年「四日町シャギリ保存会」が発足。現在20人(子どもと大人が半々)で地域の伝統文化の継承を担っている。

▶例祭では子ども会のシャギリ披露があり、保存会が5月から例祭までの2ヶ月間、週2回、子どもたちへシャギリを教えている。子ども会での体験がきっかけで保存会へ入会する子もあり、子ども会とは別に保存会があることで、中・高生になっても地域と関わりを持つ機会にもなっている。

▶就職を機に地元に戻りシャギリを再開した若者もあり「シャギリが故郷に戻るきっかけになるよう、若者を取り込み伝統文化を未来につなげていきたい」と小池会長は語る。

◇代表:小池成治さん(問合せ・055-949-5585)

【情報提供・柴田三智子】



菰山夜市のオープニングセレモニーでの演奏

島田市

健康で笑顔になる元美会

元美会



おでかけプランで見付天神へ

▶島田市の元島田地区(1227世帯)で元気なシニアが活動している「元美会」は、現在、会員数40人(男:女1:5、平均年齢82歳)からなり、50年以上の歴史のある団体。「健康維持・増進」「社会奉仕」元気に笑顔で生活が送れるように楽しい活動を目指している。

▶主な活動は、月例会での出前講座、町内奉仕活動の公園清掃、元美会の中にあるクラブ活動(踊りの会、輪投げの会等)と盛沢山。奇数月にはお誕生会があり皆でお祝いしている。市のバスを借りての社会見学は、一人で出かけられない独居の会員に喜ばれている。

▶「人と会い刺激を受けることは、健康づくりにもつながります。自分が興味あるものに参加するだけでもいいですよ」と伊藤会長。□コミで年に1、2人の新規入会はあるが、会員の高齢化は課題であることから、今後は町内会との連携をもっと深め、元美会のPRに協力してもらい入会促進を進めていきたい。

◇代表:伊藤勝久さん

【情報提供・池田 弘】



袋井市

パネルシアターの上演を通して笑顔を引き出したい

更女袋井支部
笑顔の会



上演後は人形を触ってもらい交流

▶更女袋井支部 笑顔の会は、「社会を明るくする運動」の一環として市内の子育て支援等のボランティア活動をしている団体。現在、会員14人(平均年齢73歳)で昔話や心豊かになるようなお話を選び、大型パネルシアター(布製板に登場人物を貼ったりはがしたりする人形劇)を手作りして、放課後児童クラブや高齢者施設等で上演のほか、折り紙やお手玉ゲーム等で子どもたちとの交流を楽しんでいる。

▶上演後に「楽しかったから、他の学校でも見せてあげて」と人思いやのような感想をもらって、会の目的である「思いやりの心を育む」ことができたかなと、活動の励みになっている。

▶発足してから今年で60年目。高齢化が進み次世代へつなげる課題はあるが、皆で心合わせて楽しく演じることで、見てくれる人の笑顔を引きだせるよう、これからもにこやかに活動していく。

【情報提供・新海智美】

湖西市

「地引き網漁」を守り、つなげる地域活動

白須賀地引網
保存会

▶白須賀海岸で行われていた地引き網漁は、1950年頃から漁獲高の減少とともに衰退。その後、観光漁業として細々と活動していた故郷から引退の話を聞いた地元住民が、子どもの頃見ていた風景を残したいと中学時代の同級生に声を掛け、1年間漁法を学び2005年に会が発足した。現在、会員10人(平均年齢69歳)で、年に5〜6件の依頼があり有料で船を出している。

▶外海ということもあり地元民でも海岸に行く人は少ない。そこで会では地域の文化として伝統漁法を知ってもらうために、毎年ではないが、地元民を対象にした無料の地引き網体験を開催。去る8/17には、区民80人程が参加した。「皆で力を合わせて網を引いて楽しかった」等の感想が聞かれ、地域に残された伝統漁法の良さを改めて実感する声が聞かれた。

体験後には、地引き網漁に関わっていききたいという若い世代が現れ、お手伝いしてくれるようになり、地域文化の継承に明るい未来を感じている。

◇代表:深田 徹さん

【情報提供・片山愛司】



船出しの様子

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)



No.	市町	活動名	主催者	趣旨・目的	情報通信員
1	裾野市	野良猫の保護・譲渡を通じて人と猫が共生できる社会をつくれます	NPO法人保護ねこピリカ	地域で増えすぎた野良猫たちを助けたいという思いで活動している。	志田忠弘
2	沼津市	「歌をうたおう そして学ぼう」潮騒ファミリー	潮騒ファミリー	歌って学んで笑ってますます元気になってもらいたい。	木村優子
3	袋井市	地域に貢献 放課後子ども教室へのボランティア参加	更生保護女性会 浅羽支部	子どもの居場所づくり、地域の人との交流の活動に参加協力している。	新海智美
4	磐田市	ノルディックウォークで健康増進と地域交流を図る	磐田ノルディックウォーク愛好会	ノルディックウォークで高齢者の運動不足と筋力低下防止を図る。	安部詠司
5	菊川市	きくがわ灯りの散歩道onハロウィン 同時開催: 菊川駅南北通路開通のプレイベント	NPO法人アートコラール きくがわ	来年3月に開通予定の菊川駅南北自由通路開通プレイベントのオープニングとして開催。未来への期待を高める。	松村真衣



創意工夫や新しい手法を活かしている
団体を紹介します。



時には
ハーモニカや
プラスバンドの
演奏もある



82才の方(当時)
が出店した
ドライフラワー店



お手頃価格の
うなぎ弁当に
舌づつみ

シニアも楽しめる居場所づくりを兼ねたイベント ～GB'ずマルシェ～

GB'ずマルシェ (吉田町)

吉田町防災公園北オアシスパークにて、毎月第2日曜日に開催されている「GB'ず マルシェ」は、地域の人々がふれあい、楽しみながら過ごせる居場所づくりを目指して令和3年7月にスタートしました。毎回200人以上の来場者がある人気イベントです。代表の嶋谷さん、出店者で町内にお住いの三宅さん、お客さんとして毎回楽しみにしている情報通信員の市川さんにお話を聞きました。

「GB'ず」の名に込めた思い

実家が農家であった嶋谷さんは、自宅で10年近く青空マーケットを開催しており、仲間を集めてファーマーズマーケットを開催したいと思っていたところに、町社協が地元の神戸地区で高齢者サロンを発足させたいという話を耳にします。以前デイサービスで、シニアが丹精込めた手作り品を配る姿を何度か見て「一生懸命作った物をタダで配っているのはもったいない、作品を販売できる場があれば人との会話が生まれ、作り手の励みになるのでは?」と思っていたこと、お客さんとのやり取りの楽しさを知っていることから、社協に相談し開催に向けて動きだしました。

名称の「GB」は「じじばば」を略したもの。シニアの方々が気軽に来店したり来場して楽しんでもらいたいというメッセージが込められています。さらに「マルシェ」とおしゃれな響きを持たせ、若い世代に足を運んでもらい世代を超えた交流が生まれたらいいな、という思いが込められています。

「GB'ず」に来て、出店して、楽しかったと思ってほしい

現在は4人で運営を行っています。毎回悩むのは狭い会場でのお店の配置で、年齢や販売内容の他、新規出店者が孤立しないようフォローをするなど細やかな配慮をしています。また、来場者が減る真夏や真冬の時期には、社協を通じて地域団体の芸能ショーを同時開催したり、ペット関連の出店を多くしペット連れの方を呼びこむ工

夫をしています。最近では猫の譲渡会など新たな展開も始まっています。

「よろこばせごっこ」が広げる未来

＼ イイね! ／



出店料は65歳以上の一般者は500円、65歳未満や店舗経営者は1000円と誰もが気軽に参加できる設定です。これまでの出店最高齢は、ドライフラワーを販売した82歳(当時)の方だそう。「自分と同じ年配の方のお店だと商品について質問しやすい」と市川さん。三宅さんは、定年を機に自分の趣味を活かせたらと手芸作品で出店。「利益より自分の作品が誰かに喜ばれ、使われることが何より嬉しい」と語ります。来場者との会話や作品へのフィードバックも新鮮なやりがいにつながり、ワクワクしながら活動されているのが伝わってきて、三宅さんの「喜ばれることが自分の喜びになる」姿に心を打たれました。

取材を通して思い出したのは、やなせたかしさんの言葉「人生は、よろこばせごっこ」。人を喜ばせることが何よりの喜び…。その精神が、このマルシェには息づいていると感じました。



Instagram



左から市川さん、嶋谷さん、三宅さん

◇代表：嶋谷美智子さん(問合せ・090-9908-5230)
【情報提供・市川頼子】

レポート：鈴木久雄 編集委員

コミュニティしずおかの立役者!情報通信員を紹介しま〜す (後編)

この冊子は、県内各地で委嘱のお願いをした情報通信員に地域活動の情報を提供していただいております、本年度は26市町31人の皆さんに活躍していただきます。後編の16人です。



焼津市

大原みちのさん

今年度から通信員です。焼津の素敵な活動を伝えます!



藤枝市

浅田恭子さん

御人が好き!出逢いにワクワク。御人が財産!!



藤枝市岡部

梅原 仁さん

毎日、『熱闘コミュニティ』情報を追っかけています。



島田市川根

村松遼太郎さん

川根移住10年目突入!



島田市伊太

池田 弘さん

曲づくりが趣味です。新曲「川根家山盛り上げ音頭」の歌の収録作業に挑戦中。



吉田町

市川頼子さん

子ども達の笑顔が活動のエネルギーです。



牧之原市

武田てるみさん

勝間田絆づくり事業で地域を元気にしたいです!



掛川市旧市内

加藤和男さん

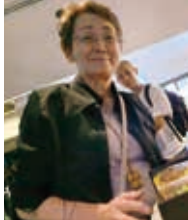
「永寿学書」、人生長いようで…。



掛川市大東大須賀

安藤ミエさん

まちづくりの声をうかがっていきます。



袋井市

新海智美さん

今思うこと。「備えあれば患いなし」つたない準備でもなんとかなる。



磐田市

安部詠司さん

冷暖自知を基本にしています。取材は、人との出会いを楽しみにしています。



御前崎市

沖二三男さん

80歳になりました。前向きに生きる仲間たちを中心に情報を発信します。



菊川市

松村真衣さん

初めての情報員、大好きな菊川市の魅力をお伝えできるように頑張ります!



森町

山田勝恵さん

取材を通して新しい友や仲間ができて嬉しいです。



浜松市

中野智晴さん

取材を通じ、地域づくりの応援をしています!



湖西市

片山愛司さん

「働食夢語」⇒私が考えた四字熟語。「皆で活動して、楽しく食事をしながら夢を語る」という意味。

コミねっと支部研修会のお知らせ

「コミカレ修了者研修会in沼津&東部リーディング」

開催日:10月26日(日)
会場:沼津市原地区センター

「コミねっと中部支部研修会」

開催日:11月2日(日)
会場:静岡県総合社会福祉会館

「コミねっと西部支部研修会」

開催日:11月22日(土)
会場:掛川市大須賀市民交流センター

令和7年度のコミュニティ育成事業は、10団体を指定しました。

令和7年度の「コミュニティ活動集団」は、次の10集団を指定しました。それぞれの地域でコミュニティの活動のさらなる飛躍を期待します。9月から12月にかけて訪問指導を行います。

■伊東市 浮山ボッチャ倶楽部

■静岡市葵区 瀬名梶原会

■御殿場市 ごてんぱボードゲーム遊戯協会

■静岡市駿河区 西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会

■裾野市 青葉台区青年会

■藤枝市 仮宿歴史研究会

■富士宮市 大岩3区まちづくりプロジェクト

■菊川市 アグリろくごうそばづくりクラブ

■静岡市清水区 かんばら・にほんごの会あゆみ

■浜松市浜名区 西気賀の子どもを育てる会



地域活動に関心のある方へ！募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

★コミュニティ活動賞募集中！！

コミュニティづくりを通じて潤いと活力ある地域づくりに努力している地域の皆さんの活動を募集します。

応募の対象と条件についてはHPをご覧ください。お問い合わせください。

優秀賞……賞楯と副賞 3 万円

優良賞……賞楯と副賞 1 万円

奨励賞……賞状

発表：令和 7 年 12 月初旬

応募の締切

令和 7 年

10 月末日

出張コミカレin長泉 開催します

地域活動のコツを学ぶ講座「出張コミュニティカレッジ」を長泉町で開催します。静岡市を会場にした「コミカレ」には遠くて参加できなかった東部、伊豆地域にお住まいの方、おまちしております。

会 場 長泉町文化センター ベルフォーレ

対 象 者 長泉町又は周辺市町にお住いのコミュニティづくりに興味のある方

※詳しくはホームページをご覧ください。

日時	内容
11/29(土) 10:00~15:00	「会議ファシリテーション入門講座」 講師：NPO法人みらい建設部
12/6(土) 10:00~15:15	「地域コミュニティ活動の可能性」 「活動団体事例発表」 講師：小田圭介氏（裾野市東区何にもしない合宿実行委員長）

静岡市出身の
作編曲家・
トロンボーン奏者が
トッププレイヤーたちと登場。
極上のジャズ体験を！

リーダー
トロンボーン、作曲
村田 陽一

サクソフーン
吉田 治(アルト)
鈴木 圭(アルト)
小池 修(テナー)
竹野 昌邦(テナー)
山本 拓夫(バリトン)

トランペット
西村 浩二
奥村 晶
佐藤 悠輔
二井田 ひとみ

トロンボーン
鹿村 秀
東條 あづさ
山城 純子

ピアノ
松本 圭司
養父 貴
ベース
納 浩一
ドラムス
渡嘉敷 祐一
パーカッション
岡部 洋一

超えて
絶大な信頼を得る
ジャズを
香取慎吾など
椎名林檎
恵 遥

村田陽一

全席指定 一般 6,000円 こども・学生 1,000円

■グランシップの会先行販売：8/3(日)～9(土) ■一般発売：8/10(日)～
グランシップチケットセンター
TEL.054-289-9000
(営業時間10:00～18:00/休館日を除く)
https://www.granship.or.jp

最新情報は
こちらから→

2025年11月15日 土 16:30開演 (16:00開場) グランシップ 中ホール・大ホール (JRF東静岡駅南口隣接)

主催：公益財団法人静岡県文化財団、静岡県 後援：静岡県教育委員会、静岡市教育委員会



常務のつ・ぶ・や・き

この4月に静岡県コミュニティづくり推進協議会の一員となり、半年が過ぎた。この間、いくつかの「コミュニティ活動集団」を訪問し、取材したり、打合せをした。みなさん、頑張っているなあ、が率直な感想である。あまり肩に力を入れ過ぎず、楽しみながら取り組んでいるのが、印象に残ったし、長く続けるコツなのかもしれない。

令和7年度の「コミュニティ活動集団」育成事業には15団体の応募があり、10団体を指定した。地域との関わりの度合いはそれぞれ。かなり地域に密着した団体もあれば、これから関わりをつくっていく団体もありそうだ。どちらにしても、これらの団体の活動によって、地域が住みやすくなっていくことが大事であるから、しっかりと取り組んで欲しい。コミュニティづくり推進協議会としても、充分に支援をしていきたい。

地域情報をお寄せ下さい！

静岡県コミュニティづくり推進協議会

〒420-0856

静岡市葵区駿府町1-70 総合社会福祉会館3階

【TEL】 054-251-3585

【FAX】 054-250-8681

【URL】 <http://www.sizcom.jp>

【E-mail】 sizucm0829@po.across.or.jp

